



語字英原田 観

No. 687

2012/12/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
春日1-1-1807231室

日中友好協会
岡山支部
〒713-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:0861272-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

日中関係をどう見る 講演とシンポジウムをきいて

竹内和夫

11月17日(土)午後、東京は渋谷で4人の専門家の話をききに行きました。18日19日は日中全国理事会のため(小林事務局長の代理で出席)多数の協会役員・理事が参加していました。

ジャーナリストの加藤千洋さん、中国政治学者の西村成雄さん、外交官(大使)だった吉田重信さん、友好協会副会長の

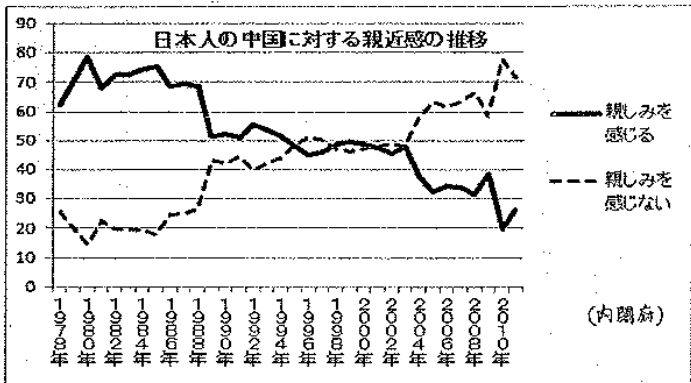
大村新一郎さん、いずれも尖閣諸島紛争をめぐる日中のきびしい現実と、40年の歴史をかえりみて、東アジア全体の問題として幅広い視点を提供されました。

グラフは語る

忘れてたいのは、日中双方の政治家たちの失敗による両国民間の不幸な対中・対日観の歴史です。それは中国に対する親近感(親しみを感ずるか感じないか)のグラフがよく物語っています。

40年前の国交樹立と、その6年後の平和友好条約をとおして、プラスの世論が70%、マ

イナスの世論は21%だったのに、天安門事件(1989)で51%対43%に接近します。それ以降15年にわたって波線が交差しあつていましたが、小泉首相のとき、ついに逆転してプラスが37%、マイナスが58%となつて回復していません。小泉首相の2001年の靖国神社参拝、2004年の自衛隊のイラク派遣などで、中国の対日観がひどくなつていきました。



岡崎嘉平太記念館を見学し 紅葉を楽しむ

こんにちは！
全国理事会は東京八重洲口南口ちかく。理事会資料によると中国残留孤児の配偶者の生活支援を求める請願署名は、目標の10万筆に対し、まだ1万筆あまり、まだまだです。岡山支部では目標2000をすでにこえています。ご協力ありがとうございます。

17日に協会は学習パンフレットを出版しました。「日中関係の発展のために、中国は脅威か?」です。36ページ¥350、ぜひお読みください。
草の根の友好運動、文化活動をさかんにして日中不再戦をつらぬきましょう。理事会での熱心な討議の相ことは、それは「こんにちはこそ!」でした。

11月20日(火)、芳田日本語学習講座の受講生と講師及びその家族12人は、吉備中央町の岡崎嘉平太記念館の見学と岡山空港の庭で紅葉を楽しみました。
休館日(毎週火曜日)にもかわらず、私たちのために開館し、職員から日中国交正常化のためにつくした、岡崎氏の一生を写真や資料をもとにくわしい説明がありました。中国帰国者のみなさんには、中国語の説明書が配布されました。



モデル気分の陳夏さん

ろな日中友好の写真や人物模型や記念章など珍しいものを参観しました。
来る前には日中友好の歴史はあまり知らなかった。岡崎嘉平太先生は日中友好に大きく貢献したと知り、もつと先生を尊敬するようになりました。

12時ごろご飯は近くで美味しく食べました。お腹がいっぱいで満足しました。
時間がまだ早いので、皆さんはも

帰りは岡山空港により、紅葉したもみじをバックにモデル気分写真を撮り、お互いに撮り合いました。受講生と講師及び家族の交流が深まり、日中友好の思いを一層強くしました。

受講生の陳夏さんの感想を紹介します。

この日の天気は我々の外出を知るようで、とても晴れて、車では途中山のもみじをみて、気持ちよかったです。

記念館に入ったら岡崎嘉平太先生の画像がすぐ眼前に映り、威厳がありました。いろいろ

ここで一日の課外学習は終わりました。皆さんと一緒にいる時間はいつも早いのですが、面白くて楽しかったです。課外学習は知識を増やすいいチャンスで、大切にしたいです。

陳夏

「帰国者への中国語の習得セミナー」交流会

谷川 清文



司会進行係の谷川さん

十二月二日(日)、福祉交流プラザ旭東にて、総勢二十三人が交流会に参加されました。生憎の雨の中参加された方には、心から感謝いたします。

事務局長も冒頭の挨拶を立派に中国語でされ、帰国者の中からもお褒めの言葉が次々と出ていました。私は今回、中国語と日本語の両方で司会をしなければならず、カンペを見ながらの挨拶で沢山

とちりました。お聞き苦しかったと思いますがご容赦下さい。最初に各自が中国語で挨拶をし、少し打ち解けたところで高杉さんが二胡を演奏されました。緊張して上手く弾けなかった。」と言われていましたが、プロの方よりもよほど味わいがあり、私の琴線に触れました。彼の苦難な人生が音色に凝縮され、感涙を誘うような演奏でした。益田さんはハーモニカとフルードスという中国の民族楽器を吹かれ大変新鮮な音色にうっとり聞き入りまし



カンニングペーパーを見ながら中国語で挨拶をする小林事務局長

た。皆さんから音楽と一緒に口ずさむ歌声が聞こえてきて、じまった!やはり歌をメインに構成すればよかった!と後悔しました。次回はいっしょに帰国

者の方たちの好きな歌をリサーチし、何かの交流会でぜひ合唱したいと思います。

私が用意した中国に関するクイズは全部基本的なことばかりで皆さんはほとんど完答でした。少し時間を持て余してしまいました。私が最初に口火を切った歌い、カラオケ大会に繋がりましたか?と事務局長に相談したところ、交流が目的だから、時間いっぱい歓迎しよう。」と言われ、少し救われましたが、やはり終わりまで気が気でありませんでした。

しかし歓談も概ね順調に行われ、無事、真田副理事長の挨拶で閉会を迎えることになりました。日中友好協会の理事の中には中国語が出来ない方が多い。中国に携わる者なら自分の言葉で中国語を使って相手を知らうとしなければならぬ。」と言った内容が全国版の日中新聞に掲載していたことを真田さんは紹介しました。私にと



ハーモニカ演奏益田さん

つても身につまされる思いでした。毎日先生に本読みの大切さを諭されているのに、軽視してしまっていて今日の司会の失態は大いに反省するところであります。只管朗読です。これに尽きます。

最後に四季の歌を皆で中国語と日本語で合唱し閉幕しました。メールで今日参加してくれた受講生から、今日はとても良かったですよ!とメールが。本当嬉しかったですが、次回リベンジを果たしたいです。最後にお忙しい中、通訳を引き受けてくださった先生には本当に感謝しています。

今回の交流会は皆さんに助けられてばかりで、次回は青年交流会のお花見会や映画上映会などを企画したいと思っております。これに懲りずまた皆さん、参加の方宜しく願います。

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? 31

竹内和夫



Q & A

クイズです。

《東京スカイ・ツリーのそばを流れている隅田川には、橋がなん本かかっていますか?》

《答え: 1本「千住大橋センジュオオハシ」だけ。近年、河口近くに隅田川大橋や新大橋がかかりましたが、あとは全部「言問橋コトトイバシ」のようにバシばかりです。残念でした。》

《⑫で、複合語という単語をつくるのにアクセントがかかることを学びました。カザグルマ(風車)のように後項がクルマ→グルマのように変わることがある。ニホン語学で「連濁」と呼ばれる歴史的な現象です。カ行→ガ行、サ行→ザ行、タ行→ダ行、ハ行→バ行の順に、語列を出してください》

A: イロガミ(色紙)、コギク(小菊)、メグスリ(目薬)、ハナゲ(鼻毛)、ニシキゴイ(錦鯉)。

B: ヤマザクラ(山桜)、コジマ(小島)、マキズシ(巻寿司)、ネコゼ(猫背)、フナゾコ(船底)。

C: ヤッコダコ(奴胤)、ハナヂ(鼻血)、ミカヅキ(三日月)、フルデラ(古寺)、クルマドメ(車止)。

A: バカバナシ(馬鹿話)、タビビト(旅人)、ツリブネ(釣船)、シゴトベヤ(仕事部屋)、セボネ(背骨)。

《このように「連濁」は和語(ニホン固有のことば)の複合語に多いが、例外がある。また、後項がカゼ、スズメ、ヒザなどのときには、連濁がおこらない。なぜだとおもう? つづく



二胡を演奏する高杉さん

次回の新聞発送作業は12月11(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 竹内和 竹内製 三垣